



社保加入の必要性学ぶ

佐栄建設事業協同組合が
専門工事業経営者研修会

佐藤工業の中核的な協力業者で構成する佐栄建設事業協同組合（廣井秀賢理事長）は17日、東京都墨田区の東武ホテルレバント東京で専門工事業経営者研修会を開いた。写真。組合員から約70人が参加し、社会保険労務士による講演などを通じて、社会保険の仕組みや

加入の必要性、手続きなどを学んだ。

冒頭あいさつした廣井理事長は、組合の活動方針などを説明し、「佐藤工業の長い歴史では、相手と共に良いものを造るといった精神が息づいている。われわれ専門工事業者もその精神を持ちながら、世の中のためになる良いものを造らなければならぬ」と訴えた。来賓として出席した佐藤工業の宮本雅文社長は「業界内の確固たるポジション

を獲得すべく、体制を整えていく。世の中のスピードの常に先を行き、次世代の会社をつくるためにすべきことを真剣に考え、行動していく」と呼び掛けた。

研修会では、特定社会保険労務士の櫻井好美氏が「社会保険加入促進に向けて」と題して講演。佐藤工業の担当者が「優良職長制度の導入」「建設業の担い手不足」「生産性向上への取り組み」について解説した。

<建設工業新聞> 2016/11/18(金)